

桜 竹 梅

平成29年 秋号



日本医療機能評価機構

発行所 医療法人 仁栄会
〒780-0066
高知県高知市比島町4丁目6番22号
TEL 088-823-2285
FAX 088-824-2363
発行者 島津 栄一
ホームページ
<http://www.shimazuhp.jp/>



ご挨拶

副院長 武田 功



島津病院は平成30年2月に、3回目の医療機能評価を受けます。それに向けて担当職員は準備を進めています。私が平成18年に島津病院に就職して1年くらい経ったとき、初回の機能評価を受けることがきまり、平成20年に受審しました。そのとき、医師の領域を担当しました。私が関わったのは、病院機能評価バージョン5の第4領域でした。

自分が担当することになって要求されている文言を読むと、抽象的な表現がほとんどで、具体的に何をして良いのかまったくわかりませんでした。初めてと言うこともあり、病院が機能評価の手助けをしてくれる会社とアドバイザー契約を結んでくれました。アドバイザーとして病院に赴任した方は常駐して、担当職員にアドバイスをしてくれました。私は週一回午後に時間を取っていただき、診療の合間に指導を受けました。指導を受けると言っても、具体的に何をしたら良いのか言われた記憶はほとんどありません。項目ごとに要求されている文言を満たすために何をして良いかがわからず、しばらくの間は週一回の相談だけで終わっていたように思います。

標準的な医療ができていれば良いのではないかという考えが根底にあり、標準的にはできているという思いもあったので、何をすべきかが見えていませんでした。医療を行う際に診療行為の中核をなすのは、医師が自ら手を下してする行為と、医師の指示のもとに職員が行う行為で、いずれも医師が主導権を握って行うのだから、医師がしっかりしていれば大丈夫だと思っていたのです。それぞれ専門性を持った多職種の連携で行われていることがわかつていませんでした。「〇〇病院が医療機能評価で認定されたが、あの病院のレベルはたいしたことない。だから機能評価はあまり意味が無い」、という噂もモチベーションを下げました。

こんなもやもやした気持ちでいても、何か具体的なことを決めてそれを実行しなければ、何も進みません。最初のうちは、具体的に要求されていた画像のダブルチェックや、カルテ記録後の署名を必ずするなどの分かりやすい部分から決めていきました。何かを決めたらその分だけ安全に近づくかもしれません、決めるたびに仕事が増え、機能評価のせいで忙しくなるような気にもなりました。私が何かを決めることで、医師だけでなく他の職種にも影響を及ぼすとなると申し訳ない気持ちにもなりましたが、きちんと対応してくれました。

実際の受審時には、サーバイナーの方に質問されてそれに答えたりしているうちに、評価「する人」と「される人」という表面的な関係ではなく、(サーバイナーが)評価をする島津病院をよくするためにには、どのようにするべきかを考えて質問してくださっているということを感じました。安全に対して絶対欠かせないところは改善を求めるましたが、それほど重要ではない項目では、私の答えに不十分なところがあつても追求はされませんでした。受審後に振り返ってみると、認定される前の「合格すればそれで良い」という気持ちから、機能評価で求められていたことを実行すれば、「病院は本当に良い方向に変化して行けそう」な気持ちにもなりました。

平成20年の受審時と比較するとハード面は大きく変わっています。オーデーリングシステムが導入され、画像処理もコンピュータとなりすべてモニタで見るようになりました。その後電子カルテが導入されました。昨年診療棟が新築され、今年7月からはすべての業務が新しい建物で行われています。1回目だけでなく、5年前の2回目の受審時に決めたことも徐々に古くなっています。署名などまったく不要になったものがあれば、電子カルテであるがゆえのトラブルもあつたりします。職員全体で安全な医療はどうあるべきかを考え、協力する体制を築けるようにしなければなりません。医療機能評価は、病院が変化する一つの手段として定着してきたように思います。

認知症に負けないために

高知大学名誉教授 森 惟明

1章 知っておきたい認知症の基礎知識

認知症の主な症状① 中核症状

認知症の症状は「中核症状」と「周辺症状」の2つに大きく分かれます。ここでは中核症状についてみてみましょう。

中核症状は、脳の機能障害そのものによる症状で、どのタイプの認知症でも必ずみられます。具体的には「記憶障害」の他、広い意味での「認知障害」が起こります。例えば、月日や時間が分からず・今いる場所が分からずといった「見当識障害」、善悪の区別がつかず・季節に合う服の判断ができないといった「判断力障害」、計画を立てる・抽象化することができなくなる「実行機能障害」などがあります。また、ものの言葉が出ず・ものの名前を間違えるといった「失語」、思った通りの図形が描けず(例えば、時計を描くことができず)・服をきちんと着ることができずといった「失行」、見えているものを判断できず・使い慣れた道具が使えなくなるといった「失認」もあります。

中核症状によって、生活上様々な支障が出てきますから、まずは周りの人が中核症状をよく理解して、本人がどのような状態であるかを見極めることが大切です。



出典：『認知症がぐんぐん改善する8つの法則』(日東書院)



URL <http://www.geocities.jp/morikoreaki/>

**新刊書
紹介**

森 惟明 総合監修

**『活力低下を感じていませんか?
知つておきたい高齢者のフレイル』**

(幻冬舎メディアコンサルティング 平成28年12月刊)



高齢者の「フレイル(虚弱)」は健康な状態と要介護状態の間にあり、早期発見が寝たきりや認知症の予防になります。フレイルは超高齢者社会のわが国において、今後健康寿命を延ばす上での重要な概念となるものと考えます。

今までのところ、フレイルに関して詳述した一般啓発書が出版されていませんので高齢者がフレイル対策を行って、自分の夢や目的を達成できる、元気で自立した老後を満喫できるよう、心血を注いで執筆しました。

本書は、全国主要書店にて購入頂けます。在庫がない場合には、書店でご注文いただぐか又はブックサービス ☎ 0120-299-625までお問い合わせください。

❀❀❀❀❀ グループホーム やすらぎ ❀❀❀❀❀

☆タチアオイ



今年も近くの土手沿いのタチアオイの群生をみにいきました。今年もキレイに咲いていて利用者さんも「今年もきれいやね。」と喜ばれていきました。

☆七夕



利用者のみなさんは今年も様々な願いを短冊にこめられていました。「お寿司が食べたい。」中には「天からまんじゅうが降ってきますように。」といった斬新な願いまでありました。

☆よさこい



近畿大学のよさこいチームの踊り子さんが今年も島津病院にやってくれました。毎年パワフルな踊りを見てくれ、利用者さんたちも手拍子をしたりして応援して楽しまれました。

部署だより 栄養科の紹介

栄養科 科長 池田 砂都喜

今年7月に念願の新厨房に引越ししました。引越しまでは仮厨房にて調理、配膳を行っていましたが、配膳道中は傾斜のある場所を移動しなければならず、汁物献立は制限していました。今回の引越しを機にあ休みしていたメニューもめでたく復活となり、献立の幅も広がると思います。新しい厨房は野菜下処理室、調理場、洗浄室と部屋が分かれており、それまでの旧厨房ではできなかった衛生面での区分けがキッチンとできるようになりました。また、区分けされた野菜下処理室、調理場の間はスルーパスの冷蔵庫が置かれており動線面で無駄がないように設計されています。洗い場も下膳車が入るように広めに設計されており、こちらも動線面で無駄なく動けるようになりスタッフ一同喜んでいます。

調理器具では今回初めて冷却機を入れてもらい、調理の下ごしらえ、冷やし麺つゆ作りなどに重宝しています。また、冷蔵庫も大きめのものが入れられており備蓄食品の保管用としても使用できると思いますので、災害時の備蓄食品ももう少し増量できるのではないかと考えてあります。

最初は新しい厨房に慣れず、配膳時間にやっと間に合わせながら、食事提供を行ってきたのですが、スタッフも徐々に慣れてきており、少しづつ余裕がでてきました。今後、衛生面に配慮しながらよりおいしい献立作りにがんばりたいと思います。



野菜下処理室



洗浄室



冷却機



調理場



調理場

手術室の紹介

外来看護師 主任 志和 久美

このたび新しくなった手術室の紹介をします。

手術室の構成は、患者搬入時の前室、手術室、中央材料室、入室前の準備室（手洗い・更衣室）から構成されています。

今回の手術室では清潔・不潔区域が明確化し、前室で病棟看護師より手術室看護師へ患者さまの引継ぎが可能となり、清潔区域にいる看護師が患者の受け入れや術前準備の全てを行うようになっています。業務分担が明確になったことで外来、病棟看護師ともに業務改善につながったのではないかと感じています。

手術室で新しく整備された設備として、一つ目は手術室入退室の際に使用するフットスイッチです。足が入る大きさくらいのくぼみがそれぞれの部屋の出入口にあります。そこに足を差し入れるとセンサーが反応し、手術室の扉が開き、入退室することができます。

二つ目は術前の手洗い場所です。広く深い手洗い用水槽を有し、手かざしする事で、石鹼水や洗浄水が供給され、停止も手かざしで行えます。主として医師、直接介助看護師が使用します。

三つ目は手術中に使用する無影灯があります。LED照明を使用し、効率を最大限に高め、照射対象に熱を与えないような機能を備えています。

四つ目は、空調がダウンフローとなっており、天井面の手術台両サイドから均一の風速をあさえ清潔な空気が降りてきて、床上壁面で吸い込んで循環させます。また手術室内部は陽圧とし、手術室まわりの部屋からの空気の流入を押さえ清潔な環境で手術することができます。

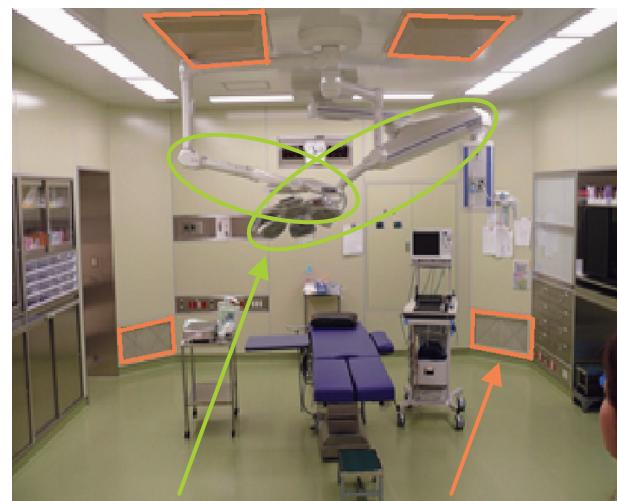
手術を受ける患者さまに、より良い環境で安全な質の高い看護を提供できるようスタッフ一同がんばっていきたいと思います。



フットスイッチ



術前手洗い場



■黄緑色 無影灯 ■橙色 空調

日本スポーツマスターズ

診療情報管理室 室長 長谷部 博則

日本スポーツマスターズ（通称スプマス）は日本体育協会(通称日体協)が主催する年齢別で競うシニア向けの大きな大会で、同じく日体協が主催する国体と同じように一つの県で複数の競技が同時に開催されます。

スプマスの水泳大会に参加してきましたので大会の様子をご紹介します。各県持ち回り開催のため毎年出場していると、いろんな土地へ行き、いろんな仲間ができ、沢山の楽しい思い出ができます。そんなスプマスにも数えてみると自転車と水泳でかれこれ10回程出場していて偶然に国体にもこの二競技で過去10回出場していますので来年からはマスターズの方が長くなります。

今年9月9・10日に開催された大会会場は尼崎スポーツの森という西日本最大規模のスポーツ施設でした。ポートアイランド、六甲アイランドと並ぶような位置にある埋め立て工業団地の中にあり、どこからどこまでが施設の敷地か分からぬる規模でした。プールの横ではフットサルの大会も盛り上がっていました。水泳のレース用プールは屋内50m、10レーンで両側の観覧席は天井近くまで椅子が並び、スタート台後ろの巨大な電光掲示板は瞬時の情報を映し出していました。選手紹介やレース結果はもちろんのこと、スタート台にセンサーがあり、陸上短距離では今やポピュラーなスタート反応時間までです。水泳の場合、ピストルからスタート台を離れるまでの時間で、私は0.8秒というお爺さんのような反応時間でした。圧巻だったのは25mのウォーミングアッププールでコースが14レーンある、縦より横が長いプールです。海外の写真で見たことはありましたが実際見るのは初めてでした。奥にはジャグジーがありレース後のクーリングダウンを使っている選手がいましたが水温が高すぎたので私は遠慮しました。反対側には子供用プールがあり、併設する軽食コーナーとスポーツグッズ販売店との壁はガラス張りになっているのでのんびりコーヒーを飲みながら子供の遊ぶ姿が見られます。普段スプマスのウォーミングアッププールは1レーンに5~6人が反時計回りに忙しく泳ぐイモ洗い状態ですが、今回は自分のペースでアップができました。水深も1.5m以上ある立派な競泳プールです。底を見るとどうやら可動式のようだったので、普段は水深を浅くして一部歩行用や子供用レーンを作るのではないでしょうか。羨ましい限りです。



外来診察表

(平成29年10月1日現在)

午前 (9:00~12:00)

| 診察科 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|--------------|----------|-------------|----------|---------------|----------|----------|
| 内 科 | 三宅・大崎(多) | 大崎(史)・大崎(多) | 三宅・大崎(史) | 伊東・岩崎泰正(高知大学) | 三宅・大崎(多) | 三宅・伊東 |
| 消化器内科 | | | | 高田(高知大学) | | |
| 肝臓内科 | | | | | | |
| 外 科 | 島 津 | 酉家(佐) | 武 田 | 酉家(佐) | 島 津 | 武 田 |
| 整形外科 | 兼 松 | 兼 松 | 兼 松 | 島津(裕) | 兼 松 | 兼 松 |
| 脳神経外科 | 森 | | | | 森 | |
| 泌尿器科 血尿外来 | 片岡(予約制) | 片 岡 | 片 岡 | | | 井上(高知大学) |
| 循環器内科 | | 小田(予約制) | 小田(予約制) | | | |

午後 (14:00~18:00)

| 診察科 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|--------------|----------|--------------------------|----------|-----------------------|-------|---|
| 内 科 | 三宅・伊東 | 大崎(史) | 三宅・大崎(史) | 伊 東 | 三宅・伊東 | |
| 消化器内科 | | | | | | |
| 肝臓内科 | | | | 【第2・第4】 岩崎信二(高知大学) | | |
| 外 科 | 岩部(高知大学) | 酉家(佐) | 北川(高知大学) | 武 田 | 酉家(佐) | |
| 整形外科 | 兼 松 | 兼 松 | 島津(裕) | 島津(裕) | 兼 松 | |
| 脳神経外科 | | | | | | |
| 泌尿器科 血尿外来 | 片岡(予約制) | | 片岡(予約制) | 片岡(予約制) | | |
| 循環器内科 | | 小田(第1,2,3,4休診) 第5のみ予約 | 小田(予約制) | | | |
| 放射線科 | | | | 久保田(高知大学) (所見のみ) | | |

- 三宅院長（内科）は午後から不在の場合がありますので、事前にお電話でご確認をお願いします。
- 担当医が不在の場合がありますので、事前にお電話でご確認をお願いします。
- 休診日は土曜の午後・日曜・祝祭日・年末年始です。

患者様の権利

一、個人として常にその人格を尊重される権利があります。

二、安全で良質な医療を平等に受ける権利があります。

三、個人のプライバシーが守られる権利および私的なことに干渉されない権利があります。

四、自分が受けける治療や検査の効果や危険性、他の治療法の有無などについて、わかりやすい説明を理解できるまで受ける権利があります。

五、自分の治療計画を立てる過程に参加し、自分の意思を表明し、自ら決定する権利があります。

六、自分が受けている医療について、知る権利があります。

七、自ら選んだ医療機関で、セカンドオピニオンを受けることができます。

八、患者様自らが、医療従事者と共に力をあわせて、これらの権利を守り発展させる責任があります。

医療理念

「病む人への思いやりをもって、安全で安心のできる高度な医療を提供します。」

医療方針

一、心ある医療を介護サービスと連携して提供し、地域社会に貢献する。

一、生きることへの共感、病む人の思いやりをもつて、医療に従事する。

一、当院の専門としている医療部門においては、医療レベルの向上に努力し、先進的医療を提供する。

セカンドオピニオンの指針

セカンドオピニオンの前提是、

患者様の権利（自己決定と選択自由の権利）の尊重にあり、当院では以下の通りセカンドオピニオンの指針を定めます。

1. 当院にセカンドオピニオンを希望される場合

(一) 担当医の紹介状、検査結果、レントゲン写真、病理診断結果等、診断に必要な資料を持参していただきます。

(二) 患者さまご本人が受診することが、原則となります。

(三) セカンドオピニオンの結果は、患者さまご本人に説明するとともに、紹介状の返書として、担当医にお知らせします。

(四) 検査や治療を行わない、相談のみの場合は自費診療として三十万につき一万八百円を申し受けます。

2. 他の医療機関にセカンドオピニオンを希望される場合

(一) 受診する医療機関名（できれば医師名）を特定して、紹介状を作成します。

(二) 検査結果、レントゲン写真、病理組織材料など、診察に必要な資料を提供します。

(三) 個人情報保護を考慮し、紹介状と資料は、患者さまご本人にお渡しします。

(四) 紹介先が示したセカンドオピニオンは、当院からの紹介状への返書として受け取り、以降の当院での治療方針や検査の選択については、患者さまご本人の意思を尊重いたします。

患者および職員などの個人情報保護に関する規程 【基本理念】

(院内規程の目的)
当院の全職員は、この「院内規程」及び「個人情報の保護に関する法律」「同施行令」厚生労働省「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」

に基づき、患者および職員などに関する個人情報を適切に取り扱い、患者および職員などから信頼される医療機関であるよう、たゆまぬ努力を続けていくものとする。
(他の院内規程等との関係)
当院における個人情報の取り扱いに際しては、この院内規程のほか、当院の「診療情報の提供に関する規定」も適用されるものとする。診療情報の提供について疑義がある場合には、前段に挙げた規定のほか、日本医師会「診療情報の提供に関する指針」ならびに厚生労働省「診療情報の提供等に関する指針」も参照するものとする。

(守秘義務)
すべての職員は、その職種の如何を問わず、当院の従業者として、職務上知り得た患者及び職員などの個人情報を、正当な事由なく第三者に漏らしてはならない。当院を退職した後ににおいても同様とする。すべての職員は、「この義務を遵守することを書面によつて誓約しなくてはならない。



診療時間

月～金 9:00～12:00
14:00～18:00
土 9:00～12:00
日・祝祭日 休診

併設事業

・通所リハビリテーション
・居宅介護支援

診療科目

- ・外科
- ・人工透析内科
- ・内科
- ・腎臓内科
- ・リウマチ科
- ・肛門外科
- ・糖尿病内科
- ・皮膚科
- ・消化器外科・内科
- ・整形外科
- ・脳神経外科
- ・循環器内科
- ・泌尿器科
- ・リハビリテーション科

関連医療・介護機関

| | | |
|-------------------|-------------------------------|------------------|
| 医療法人仁栄会 島津クリニック | 〒785-0013 高知県須崎市西古市町3番15号 | TEL.0889-43-0003 |
| 医療法人仁栄会 島津クリニック比島 | 〒780-0066 高知市比島町2丁目10番31号 | TEL.088-826-6230 |
| 医療法人島津会 幡多病院 | 〒787-0013 高知県四万十市右山天神町10番12号 | TEL.0880-34-6211 |
| 医療法人成仁会 快聖クリニック | 〒780-8050 高知市鴨部1085番地1 | TEL.088-850-0038 |
| グループホーム つくしの里 | 〒780-8050 高知市鴨部1079番地1 | TEL.088-850-0083 |
| グループホーム やすらぎ | 〒780-0065 高知市塙田町19番26号 | TEL.088-875-3500 |
| グループホーム かがやき | 〒787-0014 高知県四万十市駅前町5番20号 | TEL.0880-31-0607 |
| 小規模多機能型居宅介護 ひじま | 〒780-0066 高知市比島町2丁目10番31号 | TEL.088-826-6232 |
| 小規模多機能型居宅介護 しおた | 〒780-0065 高知市塙田町19番26号 | TEL.088-875-3718 |
| 住宅型有料老人ホーム ひじま | 〒780-0066 高知市比島町2丁目10番31号 | TEL.088-826-6233 |
| 特定施設 みやびの里 | 〒780-0066 高知市比島町4丁目6番9号 | TEL.088-822-8855 |
| 小規模多機能型居宅介護 おおかた | 〒789-1931 高知県幡多郡黒潮町入野3017番地2号 | TEL.0880-43-1023 |
| 高齢者専用賃貸住宅 くろしお | 〒789-1931 高知県幡多郡黒潮町入野3017番地2号 | TEL.0880-43-1023 |

医療法人仁栄会

島津病院

院長 三宅 晋

〒780-0066 高知市比島町4丁目6番22号

TEL 088-823-2285 FAX 088-824-2363

